

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ごみ収集事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施 策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内全世帯	意図	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、ごみを適切に衛生的に処理する。
事業内容	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集運搬を業者委託する。ごみを適切に処理することによって、市民一人一人が衛生的な環境の中で生活を営むことができる。			
事業開始から現在までの状況変化	市民サービス向上及び収集の効率化を図るため、ごみ収集業務を民間業者に委託している。各家庭でのごみ減量の取り組みや、資源ごみの回収を集団回収に一本化したことにより、ごみ収集量は減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ごみ集積所数	5,091	5,258	5,424	箇所	→→
②	1集積所当りの利用世帯数	14.20	14.40	14.20	世帯	→→	市内全世帯数(76,865世帯)÷全集積所数(5,424か所)
③	高齢者ごみ出し支援利用世帯数	119	169	138	世帯	→→	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成29年4月から平成34年3月末までの5年間、新たな業者による収集運搬業務委託を開始し、効率的な収集運搬を実施した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	349,284,799	347,235,765	317,771,710	人口増加に伴い、ごみ搬入量は微増している。			
事業費(b)(円)	339,495,799	338,311,265	309,046,110	高齢者等ごみ出し支援については、平成24年度より開始し、累計352件の申請を受け、平成29年度末で138世帯が利用している。			
うち一般財源	339,495,799	338,311,265	309,046,110				
職員給与と費(c)(円)	9,789,000	8,924,500	8,725,600				
人役・職員(人)	1.30	1.30	1.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ごみ分別の向上を図ると共に平成29年4月から開始したごみ収集業務委託がスムーズに継続できるよう取り組む。	③取組の課題	多様化したごみの適正排出の周知。
②今年度(H29)に実施した取組	市民に向けた「ごみ収集曜日カレンダー」を配布。	④今後(H30以降)の改善計画	ごみ減量に向け、ホームページ及び広報等を活用し、市民への更なる周知。剪定枝の回収については、平成23年度以前の収集体制に戻す研究を行う。